



10. 来年度に向けて

宮城県では幼児の肥満傾向児が増えていることが課題の一つとなっています。

この課題に「遊んで身に付く36の動きを取り入れた幼児の運動プログラム」が役に立つのではないかと思い、国立花山青少年自然の家では、平成28年度の下半期から「遊んで身に付く36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム」に取り組み、1年半が過ぎようとしています。

平成29年4月には、平成28年度に開発した幼児の運動プログラム「花山で遊ぼう！」のガイドブックを県内の幼稚園・保育所、県内・近県の公立青少年教育施設に配布することができました。ガイドブックを見て花山で活動したいという園もあり、嬉しく思っています。

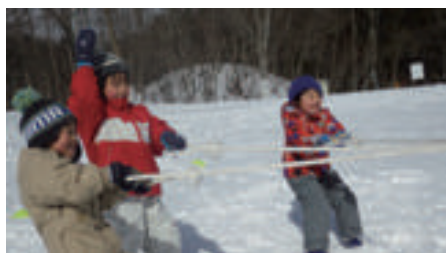
平成29年度の委員会では、県内の幼稚園・保育所において普及・活用していただくことを目指し、花山青少年自然の家が所在する栗原市と近隣の登米市・大崎市の幼稚園の先生方・保育所の保育士の方に委員をお願いしました。

幼稚園の先生・保育士の方々の視点で活用しやすいガイドブック作成を目指しました。

平成29年12月には「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を学ぶ研修会を開催し、平成30年度から全面実施される「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型こども園教育・保育要領」の改訂の解説と花山で開発した「幼児の運動プログラム」の体験会を実施しました。

お陰様で沢山の指導者の方に参加いただき、少しずつですが花山の取組を知っていただく事ができました。

平成30年度も継続して「リックと一緒に花山で遊ぼう！」を実施する予定です。本ガイドブックVol2が、花山で体験するだけでなく、各幼稚園・保育所でも活用頂けることを願っています。なお、試行事業実施にご協力いただきました各園の園長先生はじめ先生方・保育士の皆さんに厚くお礼申し上げます。



国立花山青少年自然の家 所長 松村 純子